

【3回戦・野辺地西一弘前実】1回野辺地西2死二、三塁、相内駿が中前2点適時打を放ち3-0とする=弘前市営



自球

野辺地西が弘前実を大差で下しノースードから16強

ノースードから16強

入。初戦を20-0で快勝。本主将は「ワールドで終わらなければいけない試合。ナドを進める場面が多かった。14残塁と十分に好機を生かし切れなかった。初回に四球と暴投で2死

弘実7人登板、18四死球

野西好機生かし快勝

3回戦

野辺地西 3 1 0 0 0 2 0 2 1
弘前実 1 0 0 0 1 0 0 0 0 2 9

(野) 小林大誠、林、三上泰、田澤、平川、後藤、三上祐、後藤、小野雄、外崎、須々田、工藤雅
▽三塁打 村上(弘)▽二塁打 林、川田、嶋中、佐藤(野) 佐々木(弘)▽暴投 三上泰(弘)▽捕逸 工藤雅(弘)
▽試合時間 2時間40分
(球審) 菊池、塁審 川内、最上、玉内)

監督の教え胸に 次戦の奮闘を誓う

打を放った相内駿。「チームを勢いづけないといけない場面だった」と充実感を口にする一方、「中盤以降は稚拙な攻撃があった。隙をなくさなくては」と気を引き締めた。監督を務めていた鈴木直勝さんが今年9月に入院したため、選手たちはベンチに鈴木さんの写真とユニフォームを持ち込んで試合に臨んでいる。林主将はこれまでの快進撃に「一緒に戦っているように心強い。監督の教えがなければここまで勝ってこれていない」と感謝の念を込め、次戦での奮闘を誓った。

(加藤悠樹)

【評】野辺地西は、7人が継続した弘前実投手陣の制球の乱れを突き、快勝した。初回、四死球と捕逸で2死二、三塁となり、相内が中前2点適時打で3-0とリードを広げた。その後も計18四死球で得た好機に長打を絡めて突き放した。投げたのは小林大誠が2試合連続で完投。六回以降は5三振

携帯サイトで「デーリー東北新聞社北モバイル」(有料)で全大会の試合経過を速報リンクごとのスコアのほか、打席ごとの速報をお届け。QRコードから簡単に奪い、無失点に抑えた。